

卒業論文

.gitignore ファイルの実態調査および
リファクタリング手法の提案

08232017 坂本洸亮

指導教員 中丸智貴 助教
森畑明昌 准教授

2025 年 1 月

東京大学教養学部学際科学科総合情報学コース

概要

ここに概要を書く。

目次

| | | |
|-------|--------------------------------------|---|
| 第 1 章 | はじめに | 1 |
| 1.1 | 本研究の目的 | 1 |
| 1.2 | 本研究の貢献 | 1 |
| 1.3 | 関連研究 | 1 |
| 第 2 章 | gitignore | 2 |
| 2.1 | gitignore の各機能の利用状況 | 2 |
| 2.1.1 | 仮説 | 2 |
| 2.1.2 | 検証方法 | 2 |
| 2.2 | gitignore の記述の冗長性・アドホック性 | 2 |
| 2.2.1 | 仮説 | 2 |
| 2.2.2 | 検証方法 | 2 |
| 2.3 | gitignore とその他の ignore システム | 2 |
| 2.3.1 | ignore システムの概要 | 2 |
| 2.3.2 | ignore システムで利用されるパターンマッチングシステム | 2 |
| 2.3.3 | gitignore とその他の ignore システム間での意味論の比較 | 2 |
| 第 3 章 | gitignore の各機能の利用状況の調査 | 3 |
| 3.1 | データセットの構築 | 3 |
| 3.1.1 | データの収集 | 3 |
| 3.1.2 | 復元処理 | 3 |
| 3.2 | 定量分析 | 3 |
| 3.2.1 | 手法 | 3 |
| 3.2.2 | 結果 | 3 |
| 第 4 章 | gitignore のリファクタリングアルゴリズム | 4 |
| 4.1 | パターン制約の設計 | 4 |
| 4.2 | アルゴリズムの設計 | 4 |
| 4.3 | アルゴリズムの実装 | 4 |
| 4.4 | アルゴリズムの適用実験 | 4 |
| 4.4.1 | 手法 | 4 |
| 4.4.2 | 結果 | 4 |
| 第 5 章 | 考察 | 5 |
| 第 6 章 | おわりに | 6 |
| | 参考文献 | 7 |

第 1 章

はじめに

1.1 本研究の目的

1.2 本研究の貢献

1.3 関連研究

第 2 章

gitignore

2.1 gitignore の各機能の利用状況

2.1.1 仮説

2.1.2 検証方法

2.2 gitignore の記述の冗長性・アドホック性

2.2.1 仮説

2.2.2 検証方法

2.3 gitignore とその他の ignore システム

2.3.1 ignore システムの概要

2.3.2 ignore システムで利用されるパターンマッチングシステム

2.3.3 gitignore とその他の ignore システム間での意味論の比較

第 3 章

gitignore の各機能の利用状況の調査

3.1 データセットの構築

3.1.1 データの収集

3.1.2 復元処理

3.2 定量分析

3.2.1 手法

3.2.2 結果

第 4 章

gitignore のリファクタリングアルゴリズム

4.1 パターン制約の設計

4.2 アルゴリズムの設計

4.3 アルゴリズムの実装

4.4 アルゴリズムの適用実験

4.4.1 手法

4.4.2 結果

第 5 章

考察

第 6 章

おわりに

参考文献

[1] ここに参考文献を書く。